

学位論文発表会・公聴会が開催されました

2015年2月7日(土)

2月7日(土)10時00分より、T-1002教室にて、大学院総合学術研究科の学位論文公聴会が開催されました。今回の発表者は博士前期課程の宮崎達朗さん、博士後期課程の江里口知己さん、論文博士申請者の古田晋士さんの3名でした。

宮崎さん

「肢体不自由者に対する

スティグマに関する研究」

障がい者の方が健常者よりも障害に対してスティグマ(ネガティブなイメージを)を感じていることを明らかにし、障がい者の社会受容のためには障がい者当事者が社会から受容されていると感じることが大切であると指摘しました。



江里口さん

「海洋生物体内の

化学物質・放射能濃度の

推定手法に関する研究」

化学物質や放射性物質の生物体内への蓄積量を推定するモデルを開発し、東京湾での解析を通じて、このモデルの精度が高く有効であることを明らかにしました。



古田さん

「2型糖尿病治療におけるDPP-4阻害薬

Anagliptinの薬物動態学的特徴と

効果的な臨床使用に関する研究」

わが国の糖尿病の95%以上である2型糖尿病の新しい治療薬として、これまでより効果の高いAnagliptinを開発し、生体内でどのように吸収、分布、代謝、排泄されるのかを明らかにするとともに、効果的な用法・用量設定についても検討しました。



発表後は、参加者との質疑応答・討議が行われました。専門分野を問わず、鋭い質問・指摘・意見が飛び、活発な意見交換が行われました。